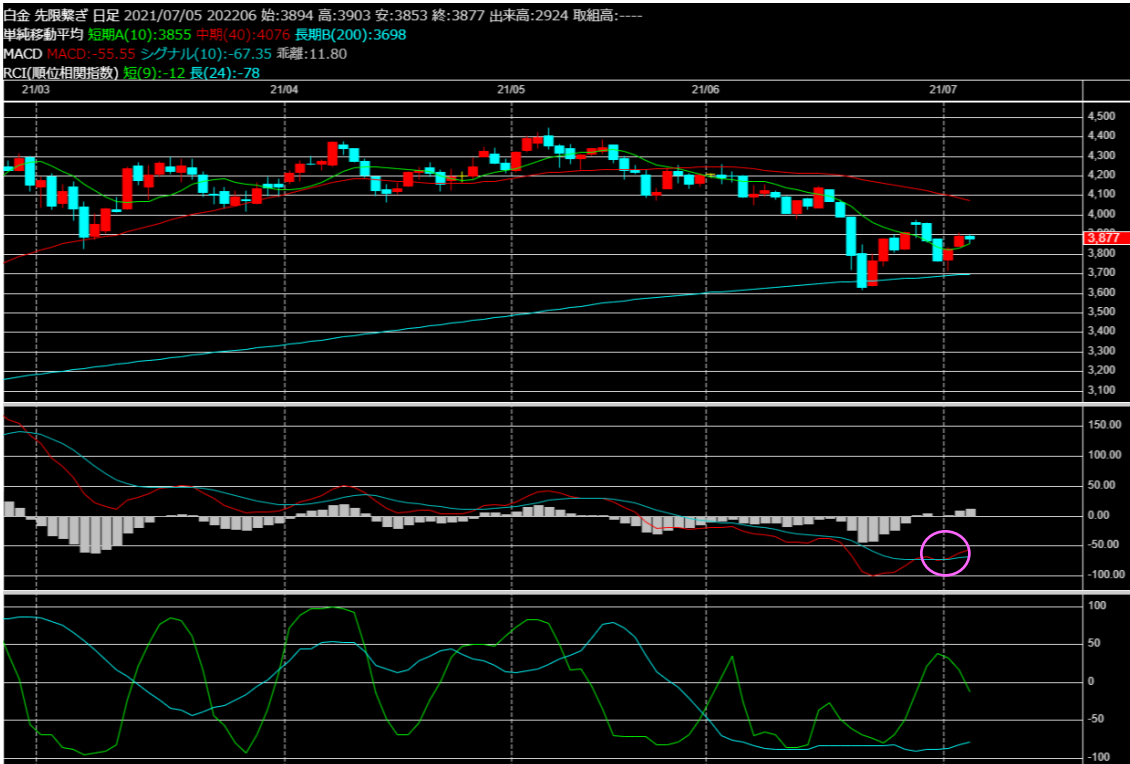


<白金標準先物、3977 円超えに向けた上昇過程>



(出所：オアシス)

中国政府は、7月1日から従来の排ガス規制「国5（チャイナ5）」を強化した「国6（チャイナ6）」が施行されている。特に施行に伴う3000CC以下の軽自動車と大型ディーゼル車におけるリコール制度も強化されている。そのため基準値を超える大気汚染物質が排出される場合はリコールが必要となり、JM社の調べでは大型トラック1台の「チャイナ6」をクリアするためには「チャイナ5」のPGM使用量の3倍が必要と報じられている。

特に白金標準先物は、FOMC以降は中国の一次産品の価格抑制策もあり、3617円まで下値を模索したが、NY白金の1050ドルの抵抗を受けて買い戻しの動きを続けている。そのため期先6月限は、新甫発会の3960円を超えると一代高値3977円を超え、FOMCで下げだした4148円の高値まで戻りを示す可能性は高まると思える。

(2021年7月4日記載)

<テクニカル>

MACDとRCIにおけるテクニカルで見た場合は、RCIの長期が徐々に切り上げており、目先短期の下落で下押しの場面が予想されるが、MACDではMACDがシグナルを上回る強気のサインが発生しており、押し目買いの動きが予想される。また10日移動平均線が3855円で上昇に転じており、この水準が下値抵抗を受ける水準であり、40日移動平均線に向けた戻りが予想される。

NYMEX 指定倉庫在庫（トロイオンス）：711,078（前週比+35,888）

世界プラチナETF残高（トン）：75.38（前週比+0.42）